

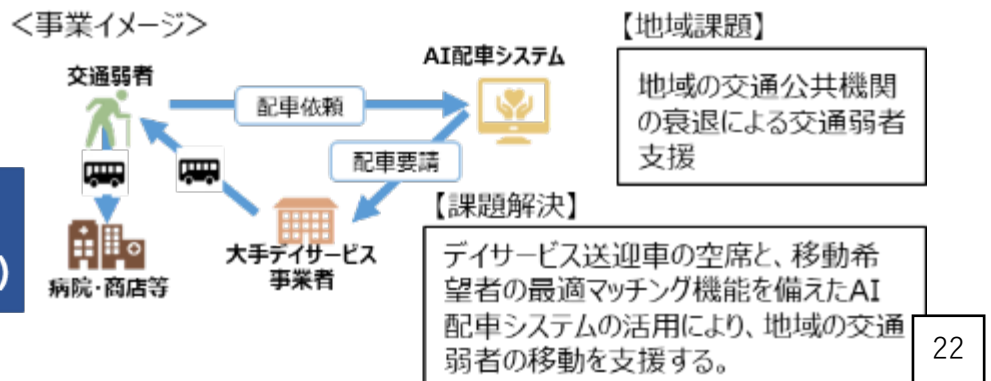
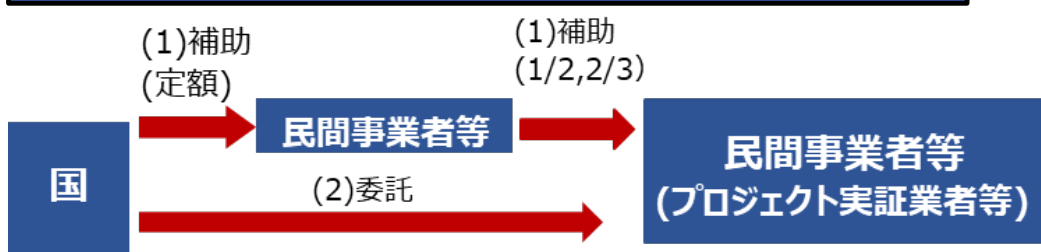
21	地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業	事業URL	① : <a href="https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/ip/chuki_21.pdf">https://www.meti.go.jp/main/yosan/yosan_fy2023/pr/ip/chuki_21.pdf</a>	問合せ先	中小企業庁 経営支援部 創業・新事業促進課 03-3501-1767 経済産業省 地域経済産業グループ 地域経済活性化戦略室 03-3501-1697
			② : <a href="https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/jinjibu/index.html">https://www.meti.go.jp/policy/sme_chiiki/jinjibu/index.html</a>		


関連する取組	事業実施主体(対象者)	支援対象・内容(ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	令和5年度当初予算(百万円)
企業との連携による持続可能な地域・社会課題の解決	民間事業者等	ソフト	(1)2/3以内(対象：中小企業等) 1/2以内(対象：民間事業者等) (2)委託	4月～5月頃		770

**趣旨・目的**  
 地域・社会課題が多様化・複雑化する中、地方公共団体による課題対応が困難になっており、地域で持続的に課題解決を行うためには、ビジネスモデルの創出が必要。このため、地域内外の中小企業等が、地方公共団体等の地域内の関係主体と連携しつつ、地域・社会課題解決と収益性との両立を目指す取組（地域と企業の持続的共生）や地域の企業群に対して、人材の獲得・育成・定着を行う取組等を支援する。加えて、地域で持続的に課題解決を行うためには、地方公共団体からの地域課題の提示や地域内外の関係主体の連携体制の構築が重要。このため地方公共団体の課題のオープン化や企業とのマッチング等を行う。

**事業内容**  
 (1) 広域的課題解決実証プロジェクト、地域戦略人材確保等実証事業  
 ベンチャー・中小企業等が、自らもしくは複数社で連携し、複数地域（5地域以上）で抽出して束ねられた課題解決・付加価値向上に資する取組に必要な経費の一部を支援する。【補助率：2/3以内、補助対象者：中小企業等】  
 また、民間事業者等が複数の地域企業を束ね、地方自治体、金融機関等の地域の関係機関と連携しつつ、地域の企業群を一体として、将来の経営戦略実現を担う人材等の確保・域内でのキャリアステップの構築等の総合的な取組を行うことを支援する。【補助率：1/2以内、2/3以内、補助対象者：民間事業者等】  
 (2) 地域・社会課題の発掘  
 地方公共団体が解決を目指す地域・社会課題のオープン化を促すための地方公共団体向けのセミナーを実施するとともに、一緒に解決を目指す創業者やベンチャー企業等とのマッチング機会等を作る。これらを通じて、地域・社会課題の発掘と横展開可能な模範となるビジネスプランを創出し、(1)の取組等に繋げていく。

### 事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



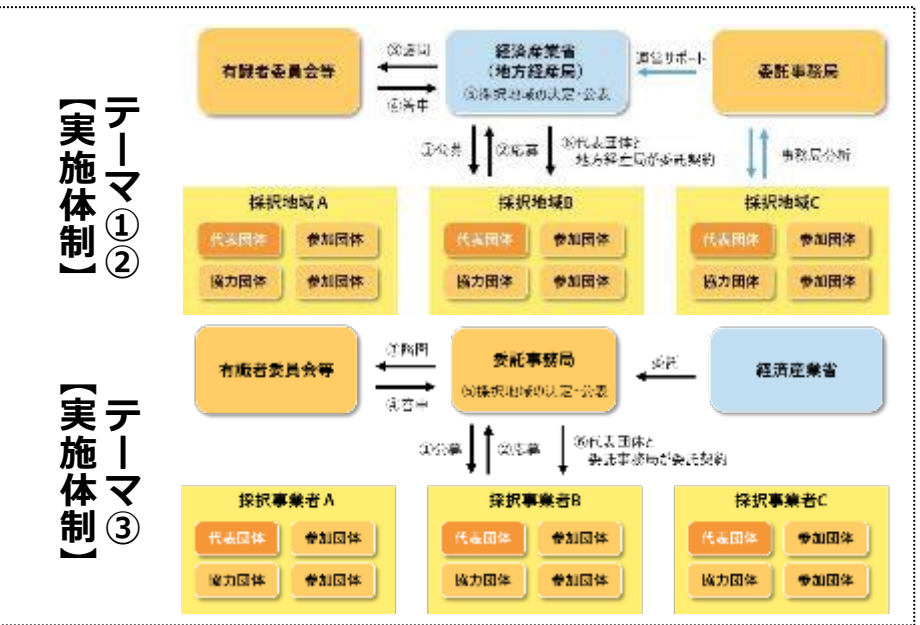
22	地域新MaaS創出推進事業	事業URL seizou taka 01.pdf (meti.go.jp)		問合せ先	経済産業省 製造産業局 自動車課 ITS・自動走行推進室 03-3501-1618	
関連する取組	事業実施主体 (対象者)	支援対象・内容 (ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望 調査時期	令和5年度 当初予算(百万円)
地域交通	企業・団体等	ハード・ソフト	委託金	4月上旬～5月上旬	7月～3月	6,500,000の内数

**趣旨・目的** 地域の移動課題の解決のため、MaaSの実装に取り組む地域（企業・団体等）を支援。新たなモビリティサービスの社会実装及び全国での横展開モデルの実現を目指す。

**事業内容** 移動の全体最適化に向けたサービス観点での挑戦を下記テーマ①テーマ②で、データ・システム観点での挑戦をテーマ③で支援する。

## 事業概要・実施スキーム

- ①移動サービスの最適化、②移動サービスと異業種・移動先の連携、③地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用、の3テーマについて、事業面／体制・環境面／受容性・効果面を検証。



### テーマ①：移動サービスの最適化

・地域における最適な移動サービスの検討と、実現に向けた体制組成・交通再編等

### テーマ②：移動サービスと異業種・移動先の連携

・異業種と連携した新しいモビリティサービス（貨客混載・医療MaaS等）の検討と、実現に向けた体制組成

・移動サービスと移動先サービスが一体となった事業運営の検討（移動先店舗との収益連携等）と、実現に向けた体制組成等

### テーマ③：地域や業種をまたがるモビリティデータ利活用

・交通サービスの効率化に向けた複数の交通事業者間でのバックエンドシステムやデータの連携・共通化の検証等

・移動目的地（購買・医療等）側サービス事業者と、移動サービス事業者間のシステム・データ連携における課題抽出、効率化効果の検証、分析結果を用いた業務更新・改善等

・地域データ基盤の構築に向けた要件定義

・モビリティデータの分析による新たな付加価値の創出、創出付加価値提供先の新規開拓等

## 過去採択事業のサービス実装例

- 過去年度の「地域新MaaS創出推進事業」の実証成果や知見集は、右、経済産業省ホームページに公表。



「スマートモビリティチャレンジ」

23	遠隔医療設備整備事業	事業URL	—	問合せ先	厚生労働省 医政局 特定医薬品開発支援・医療情報担当参事官室 03-5253-1111(代表)	
関連する取組	事業実施主体(対象者)	支援対象・内容(ハード・ソフト)	補助率等	公募時期	事業要望調査時期	令和5年度当初予算(百万円)
医療・介護	都道府県、市町村、厚生労働大臣の認める者	ハード	2分の1	6月下旬		400 ※医療施設等設備整備費補助金のメニュー予算

## 1 事業の目的

この事業は、情報技術を応用した遠隔医療を実施することにより、医療の地域格差を解消し、医療の質及び信頼性を確保することを目的とする。

## 2 事業の概要・スキーム

情報通信機器を活用して病理画像・X線画像等を遠隔地の医療機関に伝送し、専門医の診断・助言を得ることで、適切な対応を可能とする。また、医学的管理が必要な慢性疾患であって、地理的理由等により往診・通院が困難な患者等に対し、テレビ電話等の機器を貸与して、遠隔地からの診療支援を行う。

